

目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム名の「あじさい」の意味を知らない職員も多く、ホームが目指していく支援についての話が来ていない。	「あじさい」の名前の由来のもと、ケアの方針を職員全員が考え、実践できるようまた新たに入社した職員へも、名前の意味を説明し、支援内容を一緒に考えていける。	カンファレンスやモニタリングなど、ケアの方針を話し合う場で、その都度振り返りを行う。また、入社時のオリエンテーションで、名前の意味の説明を行う。	12ヶ月
2	33	あじさいで、終末期を迎えたいという要望が多くあるも、終末期ケアの学びの場などがなく、職員の意識も低い。	ご利用者が長年すみなれた、GHで安心して最後を迎えられるよう、必要な知識を身に着け、終末期をご利用様の思いに寄り添ったケアを考えていけるよう、意識づけを行う。	年に2回(4月9日)に各ユニットで終末期ケアの勉強会を開催する。	12ヶ月
3	35	年に2回の防災訓練の際、近隣の方や地域の方への呼びかけができていない、また、災害時用の備蓄品も不十分である。	非常災害時、特に夜間避難誘導の際、常駐している職員だけでは、困難であることから、近隣、地域の方にご理解いただき、協力があられるような体制を築いていきたい。	年に2回の防災訓練時に、近隣の方にお声かけさせて頂くとともに、ご協力いただきたい内容をお伝えさせていただき、運営推進会議でも防災訓練の取り組みの報告させていただく。	12ヶ月
4				」	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。